

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスわかば		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日 ~ 令和7年3月17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月に2回、外部講師による音楽創作プログラムがあり、子ども達も楽しみにしています。	先生の意向により、その場に居なくても遠くで音を聞いているだけでも良いと、無理な参加にはしていません。そうすることで、徐々に距離が近づいてきてその場で楽しむことが出来るようになった児童もいます。 当日、音楽活動があることを子どもたちに伝える事で、積極的に準備をしてくれています。 職員も参加して楽しんでいます。	ご家族様にもご覧いただきたいと先生に相談した所、見るだけではなく参加してほしいという事でしたので、そのような機会を検討しようと思います。 また、特定の曜日に設定している為、他の曜日の児童が参加出来ていないため、他の曜日の児童も参加できるように封が必要と思っています。
2	職員全員協力的なこと。	職員の定着率が良く、積極的に声かけあって他職員の業務を協力して行っています。	支援が慣れになってしまわないように、研修等参加し、個々の支援力を向上させる。研修でインプットしたことを、他職員にアウトプットし、自分自身のふり返りに役立てたい。
3	法人内にB型の事業所がある為、お仕事体験や見学ができる。	B型事業所へ草取りのお仕事を依頼することで、お仕事する姿を見たり、一緒に草取りをしてお仕事疑似体験ができました。	お仕事出来る児童を対象にしていますが、対象を狭めなくて経験させてもらい、持ち帰って支援を考え、わかばで実行して、次の機会の体験に生かすようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、兄弟同士の交流の機会がないこと。	コロナ禍により、保護者も交えたクリスマス会がなくなってしまったため。 準備を考えると、事業所内で行った方が良いと思ってしまったこと。	クリスマス会を、子どもたちが企画していたが、その代替案を考える。 音楽創作プログラムを活用して、クリスマス会を実現する。
2	地域の他の子どもとの交流の機会がないこと。	配慮が必要な児童が多いため、新しい環境へのハードルが高いこと。また、その為の事前準備が膨大な事。	地域のイベントにどんどん参加し、職員も子どもたちも慣れる必要がある。
3	個室がなく、1人になりたい・クールダウンしたい時に、他の児童が部屋を移動していること。	既存の建物を使用しており、個室がなかった。 スペース確保を検討していても、考えるだけで実行していない。	配置を工夫して、1人になれるスペースを作っていきたい。